

＜可哀そうな名前＞の植物がいろいろとありますね。ママコノシリヌグイほど酷い名前ではないですが、ヘビイチゴという名も毒イチゴともいわれるようにイメージはあまりよくありません。春先から見られる黄色の花も可愛いし、今たくさん成っている真っ赤な果実も葉の緑の中で映えているのですが。果実だって美味くないだけで毒ではありません。ビオトープの入り口からすぐのところに広がって沢山実をつけています。



＜ヘビイチゴの花＞



＜ヘビイチゴの果実＞

＜土地の名＞がそのまま植物の名前になっているのは数少ないように思います。そのひとつ、シモツケはずばり下野(今の栃木県)で見つかったのでその名があるとのこと。小さなピンクの花がびっしりと集まって咲いている姿は優雅です。池を挟んだ東西に1本ずつ花を咲かせています。シモツケという名から花の姿は連想されないのですが、似た花を咲かせるシモツケソウにはキョウガノコ(京鹿子)という別名があります。これは雅な花を想像させますね。



＜シモツケ＞

＜赤橙色とルリ色＞

ビオトープではアリやシデムシなど黒っぽい昆虫がいろいろ見られます。そのような中で鮮やかな赤橙色に黒の斑点のある甲虫



＜ホシベニカミキリ＞



＜ルリイトトンボ＞

を見つけました。ホシベニカミキリです。キャンパスにあるクスノキやタブノキから飛来したのでしょうか。また池には水草のヒルムシロがやたらに目立ちますがルリイトトンボの休息場所にはなっています。

＜梅雨＞例年になく早い梅雨の季節到来です。梅雨と言えばアジサイ、前号で紹介したヤマアジサイもいきいきとしています。 (文と写真: 松本正勝)

